こびとのおうちえんLetter 9月号

平成30(2018)年9月3日発行 第93号

空がきれいだー。ねころんで見上げる空はサイコー。吹く風はさわやかになった。鳴いてる虫の声も秋になった。走りたい。散歩にどんどん行きたい季節がやってきた。あふれるパワーはどんどん外側へ。何をえらぶか、どんな自分でいたいのかはどんどん内側へ。それでもやっぱり考えるより動こう！9月の大雨で道路が陥没。マラソンコースが通れなくなった。さんぽ道も限られてる。さぁどうする??そして私の棚上げになってる去年なみに走れる体にもどす話も…そろそろ、まずいぞ。

8月はこんなことしました

- 錦川でラフティング(年中・長)
- 大島丸見学
- 室積の海でおよぐ！
- 長なわとび
- 身長測定
- ブルーベリー摘み
- 忍者ごっこ
- すもう
- バナナの花のかきあげ作り
- くりひろい
- いちじくとり
- イノシシよけの柵づくりのお手伝い
- ドライブごっこ
- 川プール
- たんけん
- 野菜スタンプ
- ちちんぽやさん

etc…

9月のスタッフプラン

・お月見だんごを作ろう

12日(水) おべんとうのひ

※おべんとうの準備をお願いします。

おたんじょうび おめでとう

15日 はまむらかおるくん (4さい)

22日 といだえいしんくん (6さい)

27日 みずたいつきくん (5さい)

9月のお母さんグループ

14日(金) 13:00～15:00

場所：大野地区老人作業所

内容：コミュニケーションワーク(聴き方に気づくワーク)

☆参加される方は事前にご連絡下さいね。当日でもOKです。

ーお知らせー

よしみさん、ずいぶん回復されてきてますが、もうしばらく保育の方はお休みです。(9月は、てらこやのキッチンをお願いしてます。)

9月中は、ひきつづき、ももちゃん、イルサにお手伝いしてもらいます。イルサの紹介ができていませんでした。村田イルサ美月(みつき)さん。19歳。光市より。現在、アルバイトしながら免強中。大下家のヒカルくんと幼なじみです。よろしくお願いします。

＿＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。

キッチンスタッフより

おうちえんが始まって9年目になる。ご存知の方も多いと思うが、充憶さんが「ここを幼児園にしたい」と言い出した時、私は反対した。当時末っ子の宙はまだ2歳。自分の子どもも4人いて忙しいのに、どうやってよその子まで面倒見るの?! だいたいそんな小さい園のスタッフになりたいという人なんているわけない。こんな山奥の園に子どもを預けようという親なんていないだろう。そう思っていたのに、あっという間によっこという人が来てくれることになった。当時私たちが年に1回開催していた麦メリリイベントに来てくれていたよっこが、偶然充憶さんが目指しているような保育に興味があると話していた、というので声をかけたのだ。よしみさんも、別件で会った時に充憶さんが誘ったら、結局来てくれることになった。私の思惑とは違う形になったが(笑)、運命というか、そうなることになっていたのだろう。よっことよしみさんは、おうちえんが始まった当初からずっといてくれる。本当に感謝している。屋敷ヒカル君と初めて会ったのは、なんと彼が10歳の時だ(約20年前)。当時、無肥料無農薬不耕起という「自然農」で米作りを始めたばかりの充憶さんは、そのやり方を実践している人たち(当然そんなんはあまりいない)を訪ねてまわっていた。その一人がヒカルのお父さんだったのだ。作務衣を着て、髪のもと髭を長く伸ばして(誰かと似ている…)、なぜか「この葉っぱ好きなんよね」と言って、大きなごぼうの葉っぱを頭の上にのせて田んぼを案内してくれる屋敷さんは印象的だった。当時私は、第一子(ヒカルという)がおなかにいて、屋敷さんが、自分も6人子どもがいると話されて、末っ子と紹介されたのが屋敷ヒカル君だった。その時もサッカーボールを蹴っていたのを覚えている。ももちゃんやイルサ、キッチンには洋子ちゃんも、今、縁あってスタッフとして来てくれている。

人の縁とは不思議だ。9年前にわがままな夫が言い出した、はじめは半分冗談のようなものだった「幼児園をやりたい」という思いが実現して、今日も子どもたちの笑顔が見られるのは、すべて今までかかわってくれたスタッフと保護者の皆さん、そして子どもたちのおかげとしか言えない。(なんかお別れのあいさつみたいだけど、そうじゃないですよ) 縁というものは、求めて願って、手に入るものではない。伏線のように、気がつけば過去から現在、そして未来へつながっていく。今を丁寧に生きていく、それしかできないのだ。

大下里香

よっこのちょこっとおうちえん日誌 ～日々のあれこれ～

おひるごはん。タコをかむのに時間がかかる。アジのからあげもかむのに時間がかかる。それをともやは、ゆっくりゆっくり、ゆっくりかんで食べている。いっしょうけんめいたべている。むずかしかったら、減らそうか？ってきいても、「大丈夫」って。「食べたい」って。いいなぁ、ともやと思った。食べることをいっしょうけんめいすることは、大事と思う。(8/27)

こうたが、川プールで顔を水の中につけるのをしんぴたすら練習してた。そしてできるのが「うれしい！」と言って何回もやっていた。できることの優越感ではなく純粋なよろこびの気もち。(8/27) これをさかいに、なのかこうたのすごし方が少し変わってきた。次の日は、ひかるとすもうをガッツリやっていた。いちんくらいやったらしい。いつきあらたも。そしてその次の日は、今年さいごの海(8回目)。こうたは、川プールで顔をつけられるようになった自分を信じて、ゴーグルをつけて海でも実践。自分の目で、魚を見る。(今までは、ハコメガネ) それから、ライフジャケットをとって、初めて泳いだ。泳げた！自由になったこうたは軽くなったように感じた。そして、今までは、安心できる大人や甘えさせてくれる大人を求めていたこうたは、自分のエネルギーや、やりたいことの方へ動けるように少しずつ変化してきてるように感じる。

おとといっ、ももちゃんはバナナの大きな葉っぱをとってきておにわでみんなと遊んでた。今日は、バナナの花でかきあげを作るという。ももちゃんは、タイに住んでいた経験から「バナナ」は親みたい。バナナの花をもかって、ゆでてアクをぬいて揚げる。えいしんこうたいちだいともやかおるしょうすけがお手伝いした様子。バナナのはっぱをもかり、かきあげをのせるお皿もつくって豪華なおひるごはんとなった。(8/23)

モーニングミーティング。るいのダンスが楽しい。みんなの前に立っておどる。うごきはノリノリ。なめらか～。かと思ってたら次の時には、楽器の棒を両手にもって、タクトをふってリズムをとっている。そのうごきもまたなめらか～。しばらくそんな日がつづいて、今は、木琴やタイコをかきならしている。(8/30)

おうちごっこで名前をきめるとき、

いつき「う～ん、まよのXΔ…」

みと「ん？まよちゃん？いいよ。」

いつき「ちがう――、まよっちゃうーっていったの!!」(8/20)

朝、いちだいかんせいろくだいが、おんやですわってるよっこの足の下をくぐったりしてあそびだす。いちだいかんせいが、うしろからもたれてきたりする。ちさは8月に入り、腰のあたりに、ギュッってしにくるようになった。(8/24)

えいしんが「うたいたい！」といってタイコをとり出している。外で歌うことに。ステージをつくり、その上で、声高らかに歌う。そしたら、ききたい人やら、出たい人がどんどん集まる。ろくだいがひょうきんなポーズで立つ。ももが自作の歌を堂々とうたう。いちだいが、ギターをひきうたう。卒園生はるななみも来てて、まのこつむぎみとと打ち合わせして、うたう。すてきなライブ!! Yeah～!!

はるは自作の「おはるだー、おはるだー、おはるだー、おはるだー、おはるだー おはるだー、おはるだー、おわりだー」の歌をのこしていった。(8/30)